

伊丹市街路樹管理計画（1/4）

第1章 街路樹管理計画策定の背景と目的

本市において様々な社会基盤整備を推進した高度経済成長期以降、都市の緑を確保するため、道路空間においてもクスノキやケヤキ等の生長が早く、大きな緑量が見込める植栽を推進してきました。生長した街路樹は、まちの景観形成や環境保全に貢献し、通行者に快適な空間を提供してきました。

一方、植栽後40年以上が経過し大木化・老木化の進行とともに、枝葉の生長による視認性の妨げ、根上りによる通行障害、樹勢衰退による倒伏の危険性等、多くの課題が生じています。

こうした現状を踏まえ、安全・安心な道路づくり、良好な都市景観の創出、限られた経費でより効果的な維持管理を目指し、街路樹管理計画を策定します。

第2章 街路樹の現状と問題点

本市が管理している道路では、街路樹が植栽されている路線は126路線あり、総延長は約63kmになります。高木等が約5,600本、低木が約23,000本植栽されています。高木等はソメイヨシノやケヤキ、クスノキ等、大きく生長する樹種が多く植栽され、低木はヒラドツツジやアベリア等の樹種が多く植栽されています。

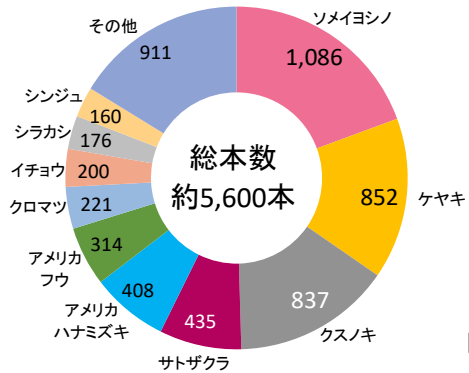


図 2-1 高木等の樹種

2-1 街路樹の管理状況

現在実施している維持管理の内容は、定期的に行っている高木、低木等の剪定、落葉清掃・灌水作業等です。また、必要に応じて病虫害防除や除草、枯損樹木等の伐採を実施しています。

表 2-1 維持管理の内容

作業区分		管理内容	作業時期・頻度
通常管理	高木剪定	・不要枝の除去及び建築限界に隣る枝の剪定 ・電線干渉枝の剪定 ・整姿(冬期)及び整枝(夏期)剪定	2～3年に1回
	低木等剪定	・歩道及び車道への突出枝の剪定 ・花木については、花芽分化時期に合わせた剪定	年に1～2回
	病虫害防除	・薬剤散布(予防散布を除く) ・可能な場合は剪定による防除を行う	適宜
	除草	・植樹樹(連統樹、単独樹)、中央分離帯内を対象 ・付属構造物の目地等で生長した雑草についても対象	適宜
	落葉清掃	・歩道部及び車道部路肩の落葉清掃 ・人力清掃を基本とし、落葉が甚大な場合はロードスイーパーによる清掃を行う	適宜
	灌水	・晴天日が継続した場合や、新規植栽を対象 ・特に水分要求量の多い樹種が対象(ハナミズキ等)	7月～9月
	育生管理	・不要支柱の撤去 ・枯損樹木の伐採	適宜
日常点検		・要望・苦情による現場対応 ・根上り枝張り状況、枯損など生育状況の点検 ・病虫害発生状況、樹体の損傷等の点検	日常的に実施
緊急時点検		・台風等災害時の巡回 ・倒木処理等緊急の通行障害除去	災害時・異常発生時

2-2 現況調査の結果

街路樹が植栽されている道路環境や生育状況の現状を把握するため、大木化・老木化の進行がみられる路線から15路線を抽出し、初期診断や精密診断などの現況調査を実施しました。調査項目から以下の3つの指標に分類し、対象路線を評価しました。

- 【指標-1：大木化率】：樹高8m以上または幹周90cm以上の街路樹の比率
【指標-2：根上り発生率】：2cm以上の根上り発生率
【指標-3：有効幅員】：植栽箇所の有効幅員

表 2-2 15路線の評価

路線名	指標-1 大木化率		指標-2 根上り発生率	指標-3 有効幅員(m) (歩道幅員)
	樹高 (8.0m以上)	幹周 (90cm以上)		
①荒牧学園線	20.8%	95.8%	16.7%	1.5 (2.5)
②荒牧荻野線	79.8%	20.2%	6.4%	1.5 (2.5)
③瑞原東野3113号線	0.0%	0.0%	3.1%	1.0 (2.0)
④昆陽池鑄物師線	19.5%	19.5%	9.0%	2.5 (3.5)
⑤池尻2050号線	49.4%	17.9%	27.2%	1.3 (2.5)
⑥昆陽池千僧線	86.0%	70.6%	22.1%	2.1 (3.5)
⑦昆陽車塚線	56.5%	60.7%	6.8%	2.8 (4.5)
⑧野間梅ノ木線	15.1%	20.8%	9.4%	1.3 (3.0)
⑨野間北武庫之荘線	0.0%	43.3%	11.5%	1.3 (2.5)
⑩新幹線北側道線	29.2%	57.1%	12.3%	2.4 (4.0)
⑪新幹線南側道線	23.5%	64.0%	24.5%	2.4 (3.5)
⑫車塚5208号線 野間5211号線	0.0%	60.6%	12.1%	1.4 (2.5)
⑬伊丹森本線	50.7%	33.3%	26.7%	1.3 (2.5)
⑭桑津口酒井線	90.8%	77.3%	4.2%	1.15 (4.0)
⑮森本8030号線	84.6%	84.6%	11.5%	1.4 (2.5)
〔グレー表示〕		〔50%以上〕	〔50%以上〕	〔20%以上〕
				〔2.0m未満〕

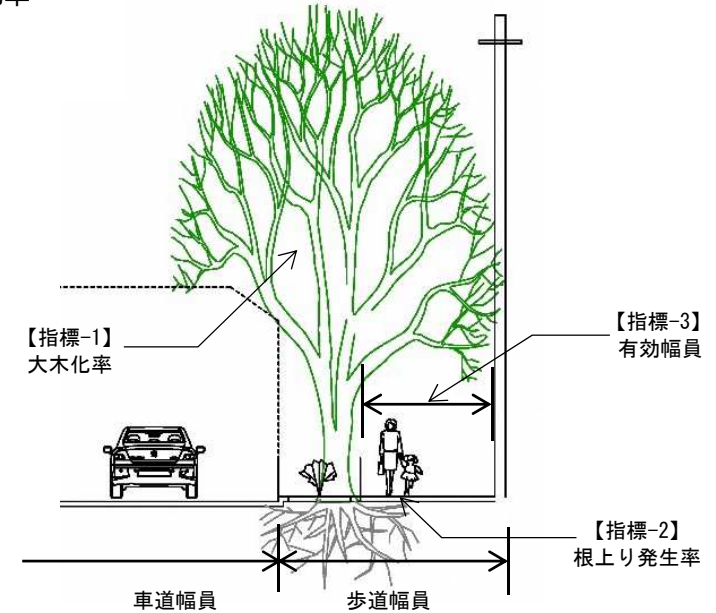
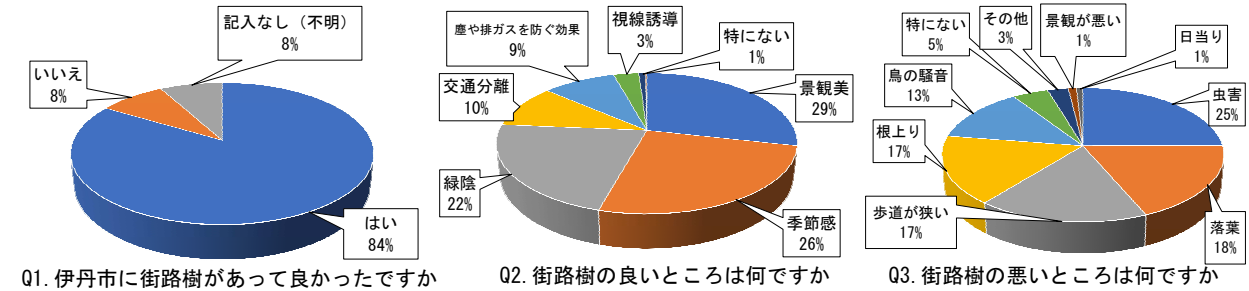


図 2-2 現況の街路樹路線

2-3 アンケート調査の結果

街路樹の良いところは、「景観美」や「季節感」、「緑陰」など、樹木が本来有する機能を評価する意見が多くなっています。一方、街路樹の悪いところは、「虫害」や「落葉」など環境面に関する割合が高く、次いで「歩道が狭い」や「根上り」など、通行の安全に関する項目が多くなっています。



2-4 本市街路樹における問題

- 1) 道路交通や歩行者への影響
●根上りによる通行障害
●幅員狭小・過密植栽による見通し阻害
●老木化による落枝倒伏の恐れ
- 2) 景観や環境への影響
●強剪定による景観の低下
●病虫害による樹勢不良
●鳥による騒音害・糞害による生活環境への悪影響
- 3) 維持管理費の問題
●労働人口の減少と専門技術力を持つ担い手不足による人件費の高騰
●街路樹の生長等による維持管理費の増加



根上りによる通行障害



幅員狭小・見通し阻害



倒伏の恐れ



強剪定による景観悪化